

となり

江口洋介 原田知世 瑛太 菅田俊 飯田孝男 小林麻子 柴本幸・余貴美子 岩松了 監督:渡辺謙作/原作:三崎亜記「となり町戦争」(集英社刊) / 脚本: 菊崎隆志 渡辺謙作

www.kadokawa-herald.co.jp

舞坂町はとなり町・森見町と戦争を始めます。 開戦日5月7日。

15

お答えします。

舞坂町役場 対森見町戦争推進室 担当者:香西

- Q なんで戦争やってるんですか?
- A それは町の活性化のため、 つまり町おこしの一環です。
- Q 車が一方通行を逆走しても良いのですか?
- A 大丈夫。戦時特任車輌ですから!
- Q 偵察業務辞令交付式について教えてください。
- A 盗聴の可能性があり、 詳細は(電話では)言えません。
- Q 本当に戦争やってるんですか?
- A 大丈夫です! 行政事業ですからちゃんと遂行されています。
- Q町長の公約を教えてください。
- A 全世代挙兵です。子供も含め銃弾の 装着ぐらいはできることを目指しています。
- Q 誰が戦っているんですか?
- A 自治体規模の戦争に国家公務員は参加できません。 志願していただいた一般町民です。
- Q 戦死者の詳細を教えてください。
- A プライバシー保護法により、 公表できません。
- Q 森見町への潜入偵察のため、 本当に結婚するんですか?
- A これは協約違反になりますので 内密にお願いします。本当です。
- Q 結婚相手にどうして俺を撰んだんです?
- A ···・住基ネットです。
- A 他に質問がなければ、戦地へお向かいください。

© 2006 『となり町戦争』 製作委員会 2006 / カラー / ビスタサイズ / ドルビーSR / 114 分





サプライズ小説、完全映画化!

第17回小説すばる新人賞選考会で物議を醸し、多くの作家や批評家から絶賛された衝撃作が、遂に映画化となる。著者は、本作でデビューし一気に文学界の注目の的となった三崎亜記。その高い完成度から同賞を受賞し、05年1月に発売されるや、新人としては異例の売り上げを記録し話題を集めた。となり町どうしの戦争という一見シュールなシチュエーションだが、そのテーマが示すものは、戦争、地方自治行政、そして男女の感情の一線…その一線を越える物語。リアルで不条理な世界、これは真に我々に最も身近な戦争である。

【原作】集英社刊 三崎亜記『となり町戦争』定価1470円(根込み) 集英社文庫より 文庫版『となり町戦争』12月15日発売予定 予価500円(根込み)

戦争という「業務」で繋がれた"僕"と"香西さん" 次第に現れる戦争の本当の姿と、

リアルに芽生える恋のゆくえ・・・。

「舞坂町はとなり町・森見町と戦争を始めます。開戦日5月7日。終戦予定日は8月31日。」ある日届いた、となり町との戦争のお知らせ。偵察業務に就かされた"僕"は、その業務遂行のために、対森見町戦争推進室の"香西さん"と夫婦生活を始める。戦時にもかかわらず、町は平穏を崩さない。かろうじて戦争状態と分かるのは、日々のニュースで発表される戦死者の数だけ。淡々とした日常生活のなかに侵食した戦争。"僕"は、知らず知らずのうちに、その戦争の中心にいたのだ・・・。



2月10日(土)よりロードショー!

毎水曜日サービスデー! ¥1.000 均一